



e-yoko 水辺の課題

せっかくの貴重な まちなかの水辺なのに…

東横堀川は、大阪でもっとも歴史ある堀川ですが、現在はほとんどが高速道路の高架で覆われており、護岸が高く、あまり水辺に近づくことができない川になっています。

人目・人気が少ないため、川側は「まちの裏側」と捉えられ、沿川ビルは川を背にして立ち、橋のたもとや水辺のスキマにはゴミが投げ捨てられていました。

それでも東横堀川は、まちなかの貴重な水辺であり、秘められた魅力があります。素敵なショップやレストランが集まる界隈の雰囲気も活かし、その魅力を引き出し、水辺を再生することができないかと、東横堀川水辺再生協議会の取り組みがスタートしました。



高架に覆われた閉鎖的な河川空間



川に背を向けた沿川の建物



ゴミが放置された水辺のスキマ



レストラン・カフェ

- ① ルポンドシエル さがん
- ② 泉州旬味 十六夜
- ③ そば切り てる坊
- ④ 北浜レトロ
- ⑤ GOKAN北浜本店
- ⑥ シーズカフェ
- ⑦ Japanese Restaurant MAGNOLIA
- ⑧ おでん田八
- ⑨ Peggy Sue
- ⑩ SOGNO (ソーニョ)
- ⑪ Kitahama sandwich アプリケ
- ⑫ ベスカード 北浜店
- ⑬ 魚すき 丸萬本家
- ⑭ 炭火焼鳥 なかお
- ⑮ 家庭料理 鈴
- ⑯ 四川 彩秀
- ⑰ アジア舟
- ⑱ 自家焙煎珈琲演田屋
- ⑲ セー六
- ⑳ cafe 初花 (hatuhana)
- ㉑ Fujiya 1935
- ㉒ 洋食屋ふじ家

ショップ

- ① 八木昆布店
- ② 福原印房
- ③ LORO CYCLE WORKS
- ④ コバサク・カンパニー
- ⑤ 先春園本店
- ⑥ ワイン・グローリアス
- ⑦ フラワー&グリーン 花三
- ⑧ インテリアショップ「うたたね」
- ⑨ STENDERS
- 資料館 名店 等



e-yoko 水辺 マップ

e-yokoの目標

まちなかに生きる東横堀川 ～都心ならではの人と水のつながりを育む、 オンリーワンの水辺づくり～

水辺づくりの基本方針

- よそおう** 水面に映え、季節の移り変わりを
感じる水辺にしよう
- つなげる** 川とまちを人が行き交う
水辺にしよう
- たのしむ** 人々が集い楽しめる
水辺をつくろう
- つたえる** 水辺の思いと情報を伝えよう

東横堀川・水辺の魅力向上プログラム 2006.4

目標実現に向けた次の展開の考え方

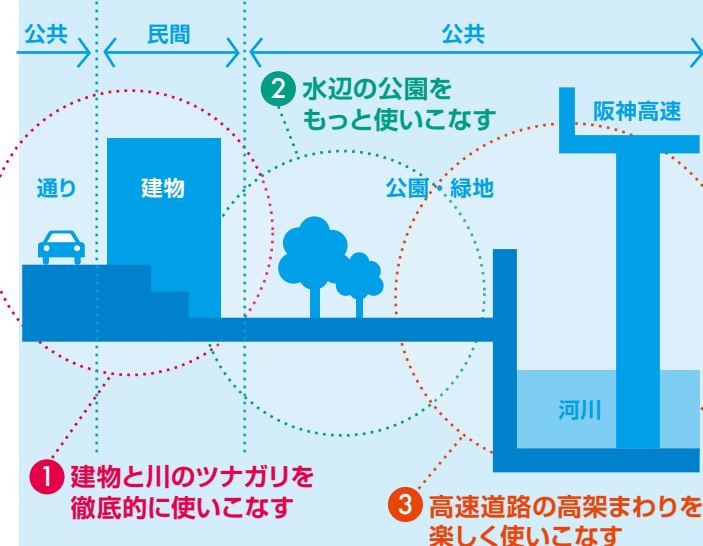
コンセプト

もっと、みんなで、 水辺を使いこなそう

東横堀川の水辺を構成する「建物と川のツナガリ」「公園」「高速道路の高架まわり」を、地域に住まう人・働く人・訪れる人が、もっと徹底的に、楽しく使いこなすことによって、東横堀川の水辺の魅力アップを目指します。

3つの方向性

- 1 建物と川のツナガリを徹底的に使いこなす**
- 2 水辺の公園をもっと使いこなす**
- 3 高速道路の高架まわりを楽しく使いこなす**



活動内容

1 水辺をきれいにしよう お掃除・花と緑の装い

自分たちでできることから始めよう。まずはお掃除から。e-yokoでは、まずは水辺をきれいにしようと、毎月14日(e-yokoの日)のお掃除をはじめました。さらに、夏を迎える前には橋を洗い、水辺には季節ごとの花が咲くフラワーポットやグリーンポットを設置しました。



橋洗い



グリーンポットのお世話

2 水辺を知ってもらおう イベント・クルーズ&ウォーク・広報

次は水辺の存在、東横堀川の存在を知ってもらわないと。e-yokoでは、普段あまり使われていなかった水辺の空間を生かし、コンサートや市、連続講座などのイベントを開催、まちを訪れる人をご案内するクルーズ&ウォークもスタートしました。また、こういったイベント情報を多くの人々にお届けするため、HPはもちろん地域新聞も発行しました。



連続講座「ソーシャルカレッジ」



クルーズ&ウォーク



水辺新聞

3 水辺を活用してみよう さまざまな社会実験

いよいよ水辺の再生に向けて、空間づくり・仕組みづくりに向けた社会実験へ。東横堀川での小型船活用の可能性に向けた「仮棧橋とマリナ」の設置、水辺を舞台にしたコミュニティスペースの可能性に向けた「川舞台」の設置、閉鎖公園の開放の可能性に向けた「水辺ピクニック」の開催と、水辺空間活用の継続的な仕組みづくり、空間づくりのチャレンジを行いました。



閉ざされた公園を開放した「水辺ピクニック」 2009.10



水辺のコミュニティスペース「川舞台」 2009.8-10

e-yoko会とは?

2006年7月24日、天神祭のどんどこ舟の音が響く東横堀川で、住民やこだわりショップのオーナー、地元企業などが集結し、e-yoko(東横堀川水辺再生協議会)が発足しました。「まちなかに生きる東横堀川」を目指し、季節ごとに水辺を楽しむイベントの開催、毎月のお掃除、橋へのフラワーポット設置など、川を生かしたまちづくりに積極的に取り組んでいます。どなたでもご参加いただけます。一緒にe-yoko界隈を楽しみましょう!

会長 | 大橋達夫 (集英連合町会長)
事務局 | 大阪商工会議所
会員 | 約150名
問い合わせ先 | 06-6944-6323



www.e-yokobori.jp

一緒に水辺を使いこなしませんか?

この「水辺の使いこなしガイド」にあるような取り組みを実現したい方は、e-yoko会にご連絡ください。e-yoko会は、あなたの想いの実現に向けて、一緒に考え、動きます。

発行 | e-yoko会 (東横堀川水辺再生協議会) 大阪商工会議所
編集 | e-yoko会
デザイン | 有限会社オルタ・デザインアソシエイツ
印刷 | 株式会社光陽社
編集協力 | 株式会社ダン計画研究所
発行日 | 2010年2月
地域資源×全国展開プロジェクト



1 建物と川のツナガリを徹底的に使いこなす

川沿いには、「レベル差のある通りと川の間」に立てられた建物が並びます。この特徴をきめ細やかに活かして魅力的な水辺をつくります。

川に向けて顔をつくる

川側を「まちの顔」と考えて、建物のファサードを整えます。2軒3軒…と連なっていけば、素敵な水辺のまちなみになります。

- 川に向けてテラスや窓を設ける
- 壁面をきれいにする（室外機を隠す・壁面の塗装）
- 川に向けてサインを設ける（看板やバナーなど）
- 川から見えるように植栽やライトアップを施す など



川に向けたテラス 壁面塗装・川に向けたサインと植栽 デザインされた開口部

川につながる出入口をつくる

かつては建物の地下一階から直接川に出ることができた東横堀川。水辺だけに残るこの特徴を生かして建物と川をつなげ、もっと水辺を身近にします。

- 川側に出入口を設ける
- 出入口の周辺は、植栽やウッドデッキなどで装う など

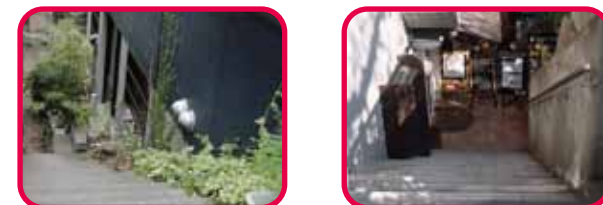


昔ながらの出入口が残る蔵 川側に出入口を設けた建物

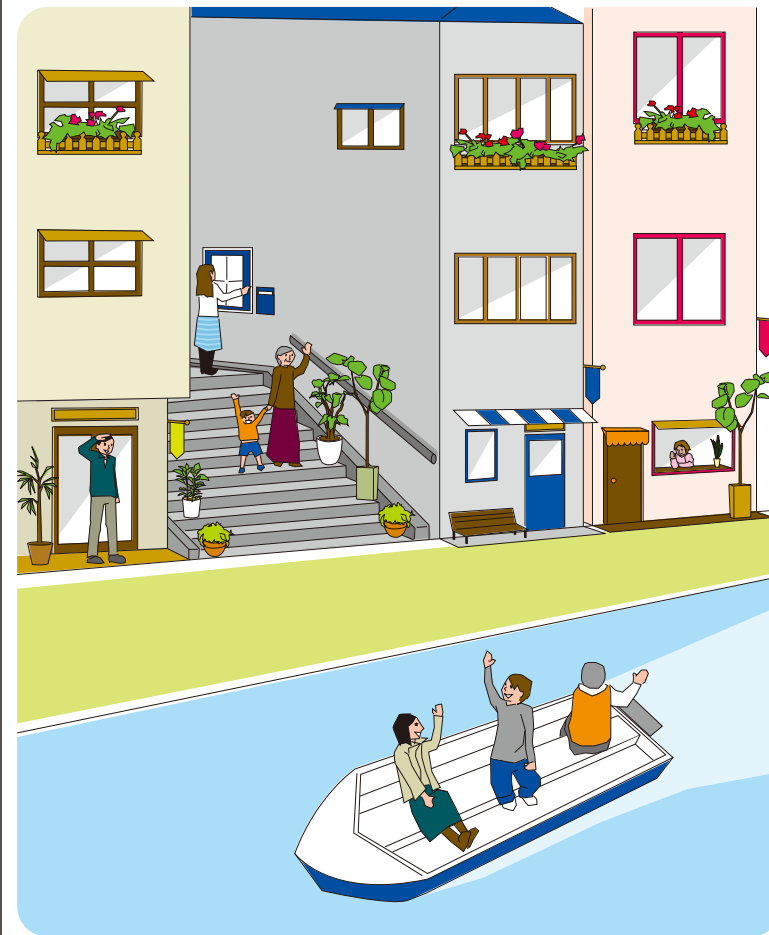
雁木(階段)空間を生かす

東横堀川沿いには、建物と建物の間を通りから川に降りる階段「雁木」が残っています。建物の側面と一体的に活用して、魅力的な水辺の空間を演出します。

- 雁木の入り口や周辺を看板や植栽で飾る
- 雁木横の建物の側面をきれいにする（室外機を隠す・壁面の塗装）
- 建物の地下一階へ雁木からアクセスできるようにする など



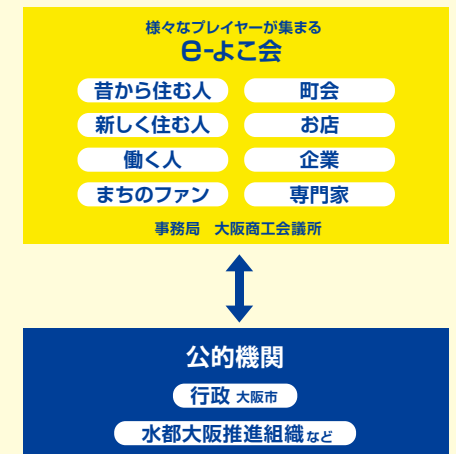
雁木沿いの植木鉢 雁木を下りた部分の装飾・室外機隠し



プロジェクト推進体制

e-よこ会は、「アイデア」と「想い」を持った提案者をプロジェクトリーダーとして、地域・公的機関と連携しながら、具体的な水辺再生のプロジェクトを一つ一つ実現していきます。

- 1 メンバーからの提案**
e-よこ会のメンバーは、水辺再生の具体的なプロジェクトのアイデアを、想いを持って事務局に提案します。
- 2 幹事会による検討**
e-よこ会の幹事会は、「e-よこ水辺の使いこなしガイド」に照らし合わせて、提案されたプロジェクトの実施について検討します。
- 3 プロジェクトチームづくり**
e-よこ会として実施することが決定されたプロジェクトについて、提案者をリーダーに有志メンバーでプロジェクトチームをつくります。
- 4 地域・公的機関と連携した実施**
プロジェクトの実施にあたっては、地域や公的機関と連携・調整し、e-よこ会全体として取り組みます。



2 水辺の公園をもっと使いこなす

都心のまちなかで自然を感じられる貴重な水辺の公園。水辺ならではの特徴をもっと活かして楽しめます。

船に乗る

簡易橋を設けるなど小型船やカヌーの乗り降りができる工夫をし、船に乗り降りする場所として活用します。



小型船が寄り付ける護岸形状

集い交流する

ピクニックやオープンカフェなど、訪れる人も住む人も一緒に集い、交流できるスペースとして活用します。



水辺でピクニックを楽しむ

水辺に近づく

公園と建物、公園と水辺の間の不必要なフェンスは取り除き、川に開かれた公園を目指します。また、既存の雁木を活かして公園の出入口を増やし、まちから水辺に近づきやすくします。



現在は公園とフェンスで隔てられた雁木・建物

川を眺める

時間や季節とともに移ろいを感じさせる水辺。水面を眺めながら憩えるような水際をつくります。



水面を眺められるように設置した川舞台

本町橋周辺の将来イメージ

e-よこ会では、2006年「東横堀川・水辺の魅力向上プログラム」で、

- 船着場
- 芝生斜面
- 桜並木
- オープンカフェ



がある水辺の公園を提案しました。この提案を受けて、2009年8月、東横堀川で初めての船着場が仮オープンしました！現在はまだ工事中ですが、今後船着場を中心に、「もっと使いこなしやすい水辺の公園」の実現が期待されます。

3 高速道路の高架まわりを楽しく使いこなす

川を覆う高速道路の高架は、東横堀川の水辺空間の特徴の一つです。これを活かして、他にはない水辺の魅力をつくります。

高架下を「全天候型的水上屋根つき空間」として活用

- ライトアップやプラネタリウム、ペインティングアートなどによる演出
- 屋根つき小型船マリーナとしての活用
- 水上ウォーク・水上展望台等の設置による視点場としての活用 など



高架下のライトアップ



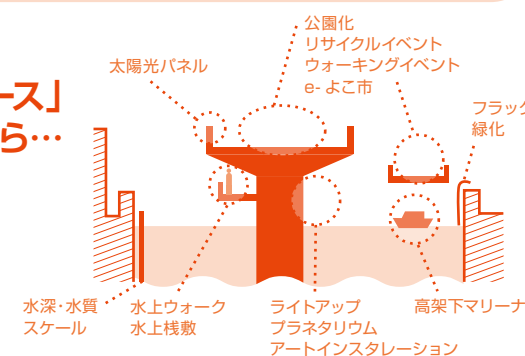
高架下の小型船マリーナ実験



橋の下の展望スペース（韓国・ソウル）

高架上を「まちなかのオープンスペース」として活用できる日が来たら...

- サイクルイベントや屋台市の開催など、イベント広場として活用
- 太陽光パネルや緑を設置するなど、環境対策のフィールドとして活用 など



一緒に想いを実現できます

e-よこ会とつながることで、水辺の魅力アップを実現する方法がひろがります

みんなで橋にフラワーポットの設置



「橋をきれいにしたい」という環境・美化部会のメンバーの声から、中央区役所など大阪市の関連部署にはたらきかけ、公共空間である橋上にフラワーポット・グリーンポットを設置することができました。季節ごとにフラワーポットを植え替えてくださるのは、本町橋の東詰めにお店を構えるe-よこメンバーの花屋「花三」さん。水遣りは、e-よこメンバーみんなでお世話をしています。

つながって閉鎖公園を開放したイベント

東横堀川河岸公園の閉鎖されている部分に隣接しているレストラン「マグノリア」と事務所「オルタ・デザインアソシエイツ」さん。以前からそれぞれ「いつか水辺の公園にテラスをだし、水辺を楽しむプログラムを実現してみたい」という想いを持っていました。昨年の夏、e-よこ会の水辺ピクニックと連動させることによって、公園を活用したイベントを実施。夢に一歩近づきました。



自分で水辺のテラスづくり



天神祭宵宮、東横堀川を行くどどこ船の音に気づき、「お客さんに川を眺めながら食事を楽しんでもらいたい」という想いを持ったレストラン「ダイニング・アップリケ」さん。マスター手作り水辺のテラスを設置し、行き交う船と手を振り合うことができる川に近いお店が実現し、東横堀川界隈の名物店となりました。